

災害対応ロボット・機器向け通信システムの技術的条件の調査の進め方(案)

1 検討対象

地上デジタルテレビジョン放送用周波数帯（470MHz～710MHz）をはじめ、VHF帯及びUHF帯のホワイトスペースを利用した災害対応ロボット・機器向け通信システム

2 検討の基本的考え方

- (1) 地上デジタルテレビジョン放送用周波数帯（470MHz～710MHz）をはじめ、VHF帯及びUHF帯のホワイトスペースを利用した通信システムの実現に対する期待が高まっていることから、ホワイトスペースを使用する災害対応ロボット・機器向け通信システムの技術的条件について検討を行う。
- (2) 他システムが当該周波数を使用することに留意し、他システムとの共用条件の検討を行う。
- (3) 上記以外の事項についても、国際動向、需要動向等を踏まえ、必要に応じて技術的条件等に係る検討を行う。

3 技術的条件の検討事項等

- (1) 対象周波数
 - ・地上デジタルテレビジョン放送用周波数帯（470MHz～710MHz）のホワイトスペース
 - ・公共ブロードバンド移動通信システムの使用周波数帯（170MHz～202.5MHz）ホワイトスペース
- (2) 被干渉・与干渉システムの範囲
 - (1)に掲げる周波数帯及び近接する周波数帯を使用する無線システム等をそれぞれ与干渉・被干渉システムとして、「2 検討の基本的考え方」に基づき、検討を行う。

4 スケジュール

別紙1のとおり。

5 その他

- 本件の検討事項について、委員会が調査研究のために必要とする情報を収集し、委員会の検討を促進させるために別紙2の運営方針で「災害ロボット作業班」を設置することとする。
- 検討に資するため、本委員会において、検討事項について以下を前提条件・提案内容として広く提案募集の機会を設けることとする。
 - 災害対応ロボット・機器向け通信システムの実現に資するものであること。
 - 地上デジタルテレビジョン放送用周波数帯（470～710MHz）をはじめ、VHF帯及びUHF帯のホワイトスペースを使用するものであること。
 - 特定のメーカーのみが製造できるものではないこと。
 - 技術的に実現可能な方式であること。

検討スケジュール(案)

年月	分科会・委員会	作業班
平成 25 年 6 月	6 月 27 日 第 2 回委員会 ・検討事項、進め方の確認等 ・作業班の設置 ・提案募集の実施 (募集期間 3 週間)	6 月 28 日 第 1 回作業班 ・検討事項、進め方の確認等 ・災害対応ロボット・機器の概要等説明
7 月	↓ 下旬 委員会 ・提案募集の結果に基づく内容検討	
8 月		8 月上旬 第 2 回作業班 ・地上デジタルテレビジョン放送のホワイトスペース(以下「TVWS」とする。)を使用する災害対応ロボット・機器向け通信システムの技術的条件的検討開始 ・地上デジタルテレビジョン放送との共用条件の検討① ・他の TVWS 利用システムとの共用条件の検討①
9 月		9 月上旬 第 3 回作業班 ・地上デジタルテレビジョン放送との共用条件の検討② ・他の TVWS 利用システムとの共用条件の検討②
10 月	10 月中旬 委員会 ・委員会報告案 最終とりまとめの検討 ・意見募集の実施 (募集期間一ヶ月)	10 月上旬 第 4 回作業班 ・TVWS を使用する災害対応ロボット・機器の技術的条件的 ・委員会報告案とりまとめ
11 月	↓	
12 月		12 月中旬 第 5 回作業班 ・委員会報告とりまとめ
平成 26 年 1 月	委員会 ・委員会報告 最終とりまとめの検討 1 月 24 日 分科会 ・一部答申(※) 審議	

※ 引き続き、公共ブロードバンド移動通信システムの使用周波数帯ホワイトスペースを使用する災害対応ロボット・機器向け通信システムの技術的条件的検討を開始

災害ロボット作業班運営方針（案）

1 作業班の構成

- (1) 作業班は、陸上無線通信委員会（以下「委員会」という。）主査から指名された者により構成される。
- (2) 作業班の主任は、委員会主査から指名された者がこれに当たる。
- (3) 作業班に主任代理を置くことができ、主任が指名する者がこれに当たる。

2 作業班の運営

- (1) 主任は、作業班の調査研究及び議事を掌握する。
- (2) 主任代理は、主任不在の時、その職務を代行する。
- (3) 作業班の会議は、主任が招集する。
- (4) 主任は、作業班の会議を招集する時は、構成員にあらかじめ日時、場所及び議題を通知する。
- (5) 主任は、関係の職員に調査研究の協力を求めることができる。
- (6) 主任は、必要があると認める時は、作業班に、必要と認める者の出席を求め、意見を述べさせ又は説明させることができる。
- (7) その他、作業班の運営については、主任が定めるところによる。

災害ロボット作業班 構成員（案）

（敬称略：五十音順）

氏 名	現 職
【主任】 中嶋 信生	国立大学法人電気通信大学 産学官連携センター長 特任教授
天野 久徳	総務省 消防庁 消防研究センター 火災災害調査部長
石垣 悟	日本無線(株) ソリューション事業本部 通信ソリューション技術部事業本部 担当部長
石津 健太郎	(独)情報通信研究機構 スマートワイヤレス研究室 主任研究員
江場 健司	電気事業連合会 情報通信部 副部長
加藤 数衛	(株)日立国際電気 映像・通信事業部 技師長
小林 信之	総務省 消防庁 国民保護・防災部 参事官補佐
五味 貞博	パナソニック システムネットワークス(株) セキュリティ システム事業部 サウンドソリューション事業グループ グループマネージャー
中川 永伸	(一財)テレコムエンジニアリングセンター 技術グループ部長
野田 正樹	(株)日立製作所 研究開発本部 横浜研究所 主管研究員
野村 一郎	国土交通省 大臣官房 技術調査課 電気通信室 課長補佐
羽田 靖史	工学院大学 工学部 機械システム工学科 准教授
廣野 二郎	(株)フジテレビジョン 技術開発局技術開発室開発推進部 開発統括担当部長
本間 康文	(株)TBS テレビ 技術局担当局長
宮澤 寛	(一財)電波技術協会 常務理事
望月 健司	日本放送協会 技術局計画部 副部長
柳内 洋一	日本電気(株) 消防・防災ソリューション事業部 シニアエキスパート
矢野 寛	三菱電機特機システム(株) 東部事業部 電子応用機器事業推進室 新事業推進担当部長